



湧別町ゼロカーボンシティ宣言

～2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指します～

近年、地球温暖化が原因と見られる気候変動の影響により、世界各地で深刻な自然災害が発生しています。また、我が国においても、猛暑や集中豪雨、大型台風などが頻発し、その災害も激甚化するなど、気候変動問題は私たちの生活に大きな影響を及ぼしており、その対策は喫緊の課題となっています。

2015年に合意されたパリ協定では、「世界的な平均気温の上昇を産業革命前と比べて1.5℃に抑える努力をする」目標が世界で共有され、我が国においても、2020年に『2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにするカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す』ことを宣言し、さらに翌年には、2030年度までの温室効果ガス削減目標を2013年度比46%削減を表明し、地球温暖化対策への取り組みの強化が図られてきております。

本町では、これまで地球温暖化を加速する温室効果ガスの発生を抑えるために、再生可能エネルギーを利用した発電施設等の誘致、公共施設等のLED照明化や家畜排せつ物の処理における環境負荷軽減を目的としたバイオガスプラントの整備などに取り組んできましたが、さらなる地球温暖化対策に取り組む必要があります。

未来を担う次世代に、先人から引き継いだ豊かな地域資源や環境を大切に守りながら引き継いでいくために、町民・事業者・行政の「オール湧別」で脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進め、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする『ゼロカーボンシティ』を目指すことをここに宣言します。

令和6年3月6日

湧別町長 刈田智之